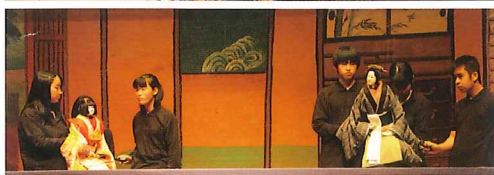


阿波人形 浄瑠璃芝居 in 勝浦

フェスティバル

演目	太夫	三味線	人形
えびす舞 <small>まい</small>			勝浦座
傾城阿波の鳴門 <small>けいせいあわのなると</small>	久米 澄香 <small>(小松島西高校勝浦校民芸部)</small>	裏田 翔太 <small>(小松島西高校勝浦校民芸部)</small>	小松島西高校勝浦校民芸部
順礼歌の段 <small>じゆんれいうたのたん</small>	鈴木 美遥 <small>(小松島西高校勝浦校民芸部)</small>	戸村 歩美 <small>(小松島西高校勝浦校民芸部)</small>	
		坂本 愛実 <small>(小松島西高校勝浦校民芸部)</small>	
鎌倉三代記八ッ目切 <small>かまくらさんだいきやっめきり</small>	大橋 后代 <small>(友和嘉会)</small>	竹本友和嘉 <small>[重要無形文化財義太夫節 総合指定保持者]</small>	勝浦座
三浦別の段 <small>みうらわかれのたん</small>			



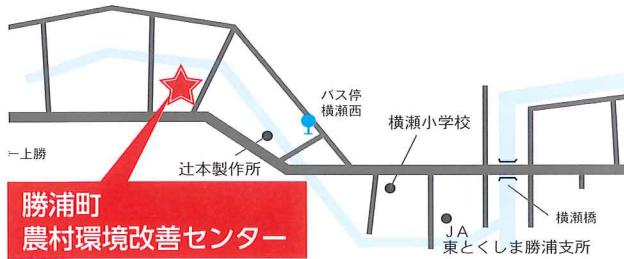
島西高等学校勝浦校



とき 令和6年9月7日(土)

- ◆ 開場 13:00
- ◆ 開演 13:30
- ◆ 終了 15:30 (予定)

ところ 勝浦町農村環境改善センター
勝浦郡勝浦町大字三溪字古川3-2 ☎0885-42-3300



※バス停横瀬西から徒歩で約5分

- ・定員に達した場合は、入場を制限させていただきます。
- ・ご来場の際は入口での手指消毒にご協力ください。
- ・体調のすぐれない方の入場はご遠慮願います。
- ・演者の都合で、演目が変更になる場合がありますが、ご容赦ください。

定員300名
(当日受付・先着順)

入場
無料

友和嘉会



大橋 后代
(太夫)



竹本 友和嘉
(三味線)

友和嘉会は、平成9年に人間国宝鶴澤友路師匠より拝命した竹本友和嘉師匠を指導者として発足し、徳島最大の語りの会に成長。会の活動は幅広く、徳島県内はもとより淡路、大阪等の大会にも積極的に参加している。竹本友和嘉師匠は東京・国立演芸場での女流義太夫演奏会にも出演し、重要無形文化財義太夫節総合認定保持者にも認定されている。また、近年は豊澤町若（娘）、澤田芽衣（孫）とともに親子3世代で人形浄瑠璃の普及・継承に励んでいる。

小松島西高校勝浦校 民芸部

伝統芸能の継承、情操教育を目的に昭和37年に創設された。人形技術の習得が難しく、人形や道具類も手に入りにくい人形浄瑠璃を、高校の部活動として現在まで取り組んでこられたのは、地元勝浦座の熱心な指導と地域の温かい支援のおかげである。また、昨年より竹本友和嘉師匠に、義太夫節と三味線の指導も受けている。活動としては阿波人形浄瑠璃フェスティバル、高校総合文化祭など、積極的に行っている。



勝浦座



■所在地／勝浦郡勝浦町大字久国

■座長／松田 貞雄 ■座員／16名

勝浦座の前身「久国座」は、江戸時代末期に久国村の若者によって創られた人形遣い的一座。明治、大正、昭和の初めには盛んに活動していたが、昭和6年の農村舞台の火災で人形、道具等全てが焼失。あわせて戦争の激化等で活動休止となったが、焼失を免れた三番叟の奉納は続けられていた。戦後復活の機運が高まり、隣村の人形座の道具一式を購入し「勝浦座」として再出発、昭和49年9月には勝浦町の無形文化財の指定を受けた。阿波人形浄瑠璃振興会に所属し、18名の座員が20余りの演目をこなし、夏期大会や阿波十郎兵衛屋敷の定期公演はもとより、県内外で積極的に活動を続けている。